

梅雨に入り大雨などが予想されます!! 大豆の排水対策徹底を!! < 水稲は中干し管理～早い水田は幼穂形成期に入ります。 >

本年の田植えについては、例年よりやや遅い方が多く、特に沿岸部の圃場整備地域では、6月上旬に田植えを完了しましたが今後の生育が心配されます。

また、6月中旬以降の大雨等により、大豆の播種作業にも大きな影響がありました。

梅雨時期の天候については、不安定で突然の豪雨や気温の上昇もありますので、農作物の肥培管理には十分気をつけるようにして下さい。

◎東北地方1か月予報 (仙台管区気象台 6月23日発表)

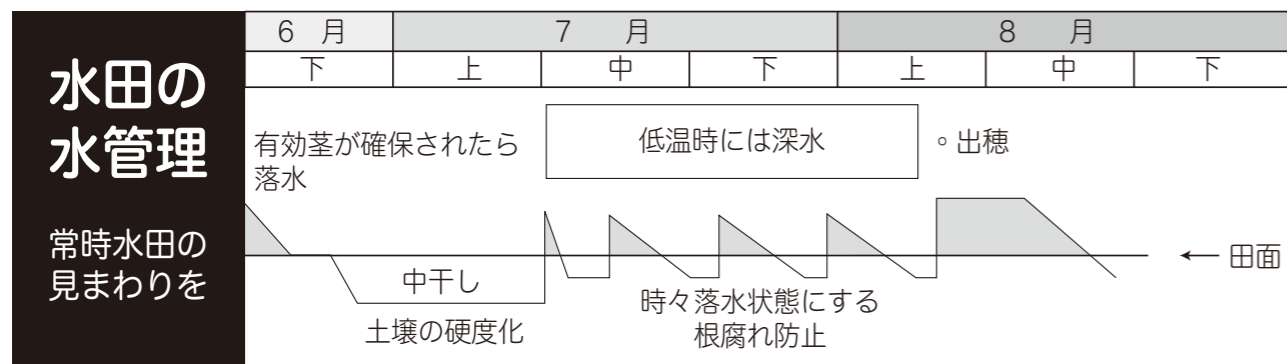
< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確立 (%) >

【 気 温 】 東北地方	20	40	40	凡例： ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)
【 降 水 量 】 東北日本海側	20	30	50	
【 降 水 量 】 東北太平洋側	20	40	40	
【 日照時間 】 東北地方	40	40	20	

< 気温経過の各階級の確立 (%) >

1週目 東北地方	20	40	40	凡例： ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い
2週目 東北地方	20	40	40	
3～4週目 東北地方	30	40	30	

◎水田の水管理と生育ステージについて



◎畦畔・農道等の草刈作業の実施について

病害虫発生の原因になりますので、早めの草刈を実施しましょう。昨年、斑点米カメムシ被害が発生した圃場は特に草刈作業を7月下旬までに完了してください。

◎追肥の施用について

●幼穂形成期の追肥は…穂の粒数を確保するための効果があります。

散布時期……………7月上～中旬に施用

- ・通常栽培の場合は、出穂前20日～25日前頃に窒素成分で「1kg」の追肥が目安です。
ひとめぼれ……窒素成分で「1kg」、まなむすめ……窒素成分で「1～2kg」を基本に施用。
ササニシキ……幼穂形成期には原則行わない

●減数分裂期の追肥は…穂の粒数減少防止、千重粒の増加に効果があります。

散布時期……………7月中～下旬に施用

- ・通常栽培の場合は、出穂前10日～15日前頃が目安です。
ひとめぼれ……窒素成分で「1kg」、ササニシキ……窒素成分で「1～1.5kg」。

●追肥の肥料……………NK化成C68号の場合、現物量6～7kg/10a=窒素成分「約1kg」基準に施用。

※環境保全米栽培は、基肥の化学窒素施用量を必ず確認してから追肥を実施すること。

〈例〉基肥に、有機一発209を40kg施肥で化学窒素の窒素成分が「2.4kg」となりますので、追肥の化学窒素の窒素成分は「1kg」以下であれば施用が可能です。(NK化成の窒素成分C68号であれば現物量10a当り5kg以内)

〈穂肥窒素の施用時期と生産要因への影響〉

◎効果高い ○効果あり ×悪影響あり

施肥時期	生産要因への影響	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏
幼穂形成期		○	◎	○		×
減数分裂期			○	◎	◎	

〈幼穂形成期及び減数分裂期の葉色の目安及び追肥の目安〉

品 種 名	幼穂形成期 (7月15日頃)	施 用 量 10a当たり 窒素成分	減数分裂期 (7月25日頃)	施 用 量 10a当たり 窒素成分
	葉 色 葉緑素計値		葉 色 葉緑素計値	
ひとめぼれ	37～39未満	1.0kg	N35～37未満	1.0kg
ササニシキ、コシヒカリ	—	—	N32～34未満	1.0～1.5kg
まなむすめ	35～37未満	2.0kg	—	—

〈参考〉平成27年産米の生育ステージ

品種・移植期別の生育ステージ (古試作況圃)

品 種	移 植 期	幼穂形成期		減数分裂期		出 穂 期	
		27年	平年差(日)	27年	平年差(日)	27年	平年差(日)
ひとめぼれ	5月1日	6月30日	▲7	7月15日	▲3	7月25日	▲9
ひとめぼれ	5月10日	7月5日	▲4	7月19日	▲1	7月30日	▲5
ササニシキ		7月7日	▲2	7月19日	0	7月30日	▲5
まなむすめ	5月20日	7月7日	▲2	7月19日	0	7月29日	▲6
ひとめぼれ		7月12日	0	7月23日	0	8月2日	▲6
ササニシキ		7月12日	▲1	7月22日	▲1	8月1日	▲5

※H27年は平年に比べてかなり早まったこととなりますが、今年も気温が高く推移してきております。

※追肥の判断についてJAでは葉緑素計を準備しております。圃場に出向き診断しますので、ご連絡下さい。(営農企画課 022-384-2392)

平成28年産「環境保全米栽培」展示圃場生育概要

平成28年6月20日現在

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		その他
閑上(牛野)	ひとめぼれ	有機一発209(80日タイプ)			40 kg		田植日
東部分区	77-1	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 18日
面積	100 a	kg	4.8kg	(2.4kg)	4.0kg	3.6kg	側条施肥
草丈(cm)	35.5	茎数(本)	16.4	m ² 当り本数	193.6	葉色(GM)	-

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		その他
愛島(北目)	つや姫	みのり有機一発(100日タイプ)			50 kg		田植日
田小屋	187	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 24日
面積	100 a	kg	5.0kg	(2.5kg)	6.0kg	4.0kg	側条施肥
草丈(cm)	35.5	茎数(本)	11.1	m ² 当り本数	151.7	葉色(GM)	-

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		その他
千貫(長岡)	つや姫	無肥料区			kg		田植日
昭伍	141	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 7日
面積	100 a	kg	0	(0kg)	0	0	無し
草丈(cm)	45.3	茎数(本)	18.8	茎数(m ² 当り)	230.4	葉色(GM)	-

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		その他
玉浦(早股)	ひとめぼれ	みやぎ米有機一発499			40 kg		田植日
五福田	1067	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 7日
面積	100 a	kg	5.6kg	(2.8kg)	3.6kg	3.6kg	側条施肥
草丈(cm)	40.6	茎数(本)	14.4	茎数(m ² 当り)	231.0	葉色(GM)	-

亙理農業改良普及センター 平成28年産調査結果(平均)

平成28年6月20日現在

草丈(cm)	43.2	茎数(本)	-	茎数(m ² 当り)	375.9	葉色(GM)	45.3
--------	------	-------	---	-----------------------	-------	--------	------

⚠ 畦畔等の除草剤散布にあたって(重要)

畦畔や農道等へ除草剤を散布する際に対象雑草以外の作物へ薬剤がドリフト(飛散)する場合があります。

散布前に立地、風(風向と強弱)を考え、ドリフト(飛散)にも配慮した散布計画を立ててから作業をしてください。

また、散布する際は早朝や夕方の風のない時間帯を選ぶよう心がけましょう！

なお、薬剤の使用にあたってはラベルを一読し、使用方法等を確認の上、散布してください。



◎いもち病の防除について(7月中旬散布)

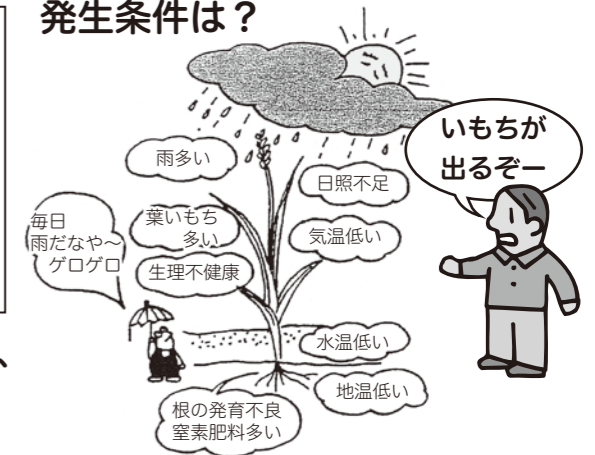
●水稲直播栽培は、特に葉色が濃い水田にいもち病の発生が懸念されますので早めの散布をお願いします。

※箱処理剤を使用せず、本田でオリゼメート剤を散布した場合は、必ずコラトップ剤を散布して下さい。

＜いずれか1剤を散布する＞
7月15～20日頃散布
コラトップ粒剤5(10a当り3～4kg)
コラトップ1キロ粒剤12(10a当り1～1.5kg)
コラトップジャンボ(10a当り500～650g)
※パック剤(小袋10～13個散布)

(注)環境保全米はコラトップ剤を使用できませんので、ご注意ください。

いもち病の発生条件は？



◎倒伏軽減剤の散布時期です!!

転作跡地や復元田で、稲の生育旺盛な圃場では倒伏する場合がありますので、倒伏軽減剤の散布を検討して下さい。

主な倒伏軽減剤	使用時期	10アール当り	使用方法
ロミカ粒剤	出穂25日～10日前まで (節間短縮による倒伏軽減)	2～3kg	湛水散布
スマレクト粒剤	出穂7日～20日前 (節間短縮による倒伏軽減)	2～3kg	
ビビフル粉剤DL	出穂10日～5日前 (節間短縮による倒伏軽減)	3～4kg	散布
ビビフルフロアブル	出穂10日～2日前 (節間短縮による倒伏軽減)	75～100ml/10a (散布数量50～150ℓ)	茎葉散布

※使用量、使用時期を厳守し多量散布、重複散布に気をつけて下さい。

※「環境保全米」を栽培している生産者は、散布できませんのでご注意願います。

◎稲こうじ病・紋枯れ病等は出穂前の日数を確認して散布しましょう!!

防除農薬	適用病害	使用基準	10a当り使用量	使用時期
モンガリット粒剤	紋枯病 稲こうじ病	収穫45日前まで	3～4kg	〈散布目安〉 7月20日頃 まで
撒粉ボルドー粉剤DL	稲こうじ病	出穂10日前まで	3～4kg	
モンカットファイン粉剤20DL	紋枯病	収穫14日前まで	3～4kg	8月末頃まで

※「環境保全米」を栽培している生産者は、撒粉ボルドー粉剤DLのみ使用できます。